

表12 最優先接種の対象とする基準

1. 慢性呼吸器疾患

- ① 気管支喘息患者と COPD(肺気腫, 慢性気管支炎) を有し, 継続して治療を受けているか, 治療を受けていなくとも経過観察のために定期的に受診している者
- ② 陈旧性を含む肺結核, 非結核性抗酸菌症, 気管支拡張症, びまん性汎細気管支炎, 間質性肺炎, 塵肺症等のうち, Hugh-Jones 分類で, III以上(III, IV, V)の者
- ③ 過去1年以内に誤嚥性肺炎の既往がある者
(脳性麻痺, 認知機能障害, 精神運動発達障害等を含む)

Hugh-Jones 分類

- I 同年齢の健康者と同様の労作ができ, 歩行, 階段昇降も健康者並にできる
- II 同年齢の健康者と同様に歩行できるが, 坂道・階段は健康者並には出来ない
- III 平地でも健康者並に歩けないが, 自分のペースなら1マイル(1.6km)以上歩ける
- IV 休み休みでなければ50m以上歩けない
- V 会話・着替えにも息切れがする. 息切れの為外出できない.

2. 慢性心疾患

慢性心疾患患者 (NYHA 分類II度以上)

NYHA 分類 (日本循環器学会 急性心不全治療ガイドライン (2006年改訂版))

- I 度 心疾患はあるが身体活動に制限はない.
日常的な身体活動では著しい疲労, 動悸, 呼吸困難あるいは狭心痛を生じない.
 - II 度 軽度の身体活動の制限がある. 安静時には無症状. 日常的な身体活動で疲労, 動悸, 呼吸困難あるいは狭心痛を生じる.
 - III 度 高度な身体活動の制限がある. 安静時には無症状. 日常的な身体活動以下の労作で疲労, 動悸, 呼吸困難あるいは狭心痛を生じる.
 - IV 度 心疾患のためいかなる身体活動も制限される.
心不全症状や狭心痛が安静時にも存在する. わずかな労作でこれらの症状は増悪する.
- (付) II s 度: 身体活動に軽度制限のある場合
II m 度: 身体活動に中等度制限のある場合

3. 慢性腎疾患

- ① 慢性維持透析患者 (CKD ステージ5D)
- ② 透析導入間近の慢性腎不全患者 (eGFR <15ml/min/1.73m², CKD ステージ5)
- ③ 腎移植後患者
- ④ ネフローゼ症候群, 慢性糸球体腎炎, 血管炎, 自己免疫疾患等で副腎皮質ステロイドや免疫抑制薬の投与を受けている者
- ⑤ 腎機能高度低下患者 (15 < eGFR < 30ml/min/1.73m², CKD ステージ4)
このうち, 免疫能低下 (糖尿病性腎症等) や他の重症化因子である慢性呼吸器疾患, 心疾患等を合併する患者は特に接種が推奨される.

4. 慢性肝疾患

- ① 肝硬変患者のうち, Child-Pugh grade B または C
- ② 自己免疫性肝疾患等で免疫抑制薬または副腎皮質ステロイドホルモンを継続して使用中の者

Child-Pugh スコアシステム

スコア	1	2	3
脳症	なし	1-2度	3-4度
腹水	なし	軽度, 利尿薬でコントロール可能	中等度以上
総ビリルビン (mg/dl)	<2	2-3	>3
(胆汁うっ滞性肝疾患の場合)	(<4)	(4-10)	(>10)
アルブミン (g/dl)	>3.5	2.8-3.5	<2.8
PT 時間延長 (秒)	<4	4-6	>6
(INR の場合)	(<1.7)	(1.7-2.3)	(>2.3)